

平成
24年度

佐渡市一般会計当初予算

◆平成24年3月2日～22日開催 3月定例会の主な審議事項

1 緊急情報伝達システム 屋内整備事業について

地震や津波等の災害時に、ケーブルテレビ回線を利用して、全世帯を対象に緊急情報をいち早く伝達し、被害を最小限に防ぐことを図るためのシステム整備にかかる事業費として、8億6,410万円を予算計上することを認めました。



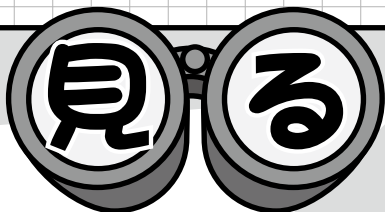
2 離島航路船舶建造事業補助金について



おおさど丸

老朽化した佐渡汽船のおおさど丸の代替船について、国の社会資本整備総合交付金及び市の補助金により建造することから、建造費の全額を航路運賃に還元し料金の低廉化を図ることを前提に、費用の一部となる3億4,300万円を予算計上することを認めました。

行政の
今を



常任委員会
のうごき

総務文教

相川支所・相川消防署庁舎等建設事業について、施設建設が海岸至近に予定されているため、津波等の被害をいち早く受ける懸念があることから、防災、災害対策の拠点となるべき施設の建設場所としては著しく不適当と判断し、再考を強く求めました。



3月定例会では13人の議員が登壇し、市の考えをいただきました。
一般質問での答弁要旨を各議員からの寄稿で掲載しています。



一般質問



ココが聞きたい!!

田中文夫 議員 ⑥

◆「東日本」から学べ

中川直美 議員 ⑦

◆市民の期待にこたえた市政を

廣瀬 擁 議員 ⑦

◆人口減少に伴って起きる諸問題について
新年度予算にどう反映したのか

白杵克身 議員 ⑧

◆尾花地域を中心とした都市計画を描け

中村良夫 議員 ⑧

◆佐渡病院の駐車場を早期に

松本正勝 議員 ⑨

◆佐渡市における災害時の危機管理は万全か

村川四郎 議員 ⑨

◆支所・サービスセンターの自主自立を認めよ

祝 優雄 議員 ⑩

◆航路の時間短縮と割引料金

加賀博昭 議員 ⑩

◆市役所も建てないで150億円
国に返す愚策

小杉邦男 議員 ⑪

◆合併は地域の衰退と
住民サービスの大幅な削減を招いた

本間千佳子 議員 ⑪

◆交通インフラ整備と学生割引制度の導入を

金田淳一 議員 ⑫

◆条件不利地域への対応と
ブランドデザインについて

近藤和義 議員 ⑫

◆民主党政権の佐渡市への実績
庁舎の国旗掲揚をすべき

一般質問

「東日本」から学べ



田中 文夫 議員

【質問】 超高齢先進地である佐渡を追い越した地域がある。大震災を受けた東日本である。今後は東日本を先例として佐渡の回生策を考

えねばならない。地域再編・限界集落対策を問う。

【地域振興課長】 平成21年度から外海府・国仲・小佐渡から代表的な地区を選び、集

落支援モデル事業に取組んでいる。集落間連携・耕作放棄地活用・大学生との交流・お祭り復活等の試みを通じて、リーダーの不在・集落機能の維持困難が

判明した。横の連携をとり集落の維持・再編に取組んでいきたい。

【高齢福祉課長】 羽茂本郷地区をモデルとした福祉版コンパクトシティは病院・介護

施設・学校・拠点支所・コンビニ等社会資源が集中しており、それらの相互連携

と地域への発信により、各集落での自助・互助・共助意識の醸成を考えている。

【質問】 東日本は根こそぎ地域・集落を奪われ緊急避難・仮設での生活を余儀なくされ、否応なく復旧ではなく

復興（新たな地域・集落づくり）が課題となっている。佐渡も合併の際、施設の統廃合だけでなく、地域・集落の統廃合に着手すべきで

なかったか。

【市長】 佐渡の場合は、歴史と伝統に培われ住み着いた土地・田畑を放して新たな

地域に移り住むことは極めて難しい。

きている。佐渡は国全体の50年先を歩んでいる。間に合わないのは当たり前だ。

【市長】 この認識は、国に対して今までも十分に言ってきた。しかし、ピンと来ていないのが問題だ。今回の

離島振興法改正に際しても、移民特区とか幾つか提案しているが、国政の混乱の中でなおざりにされるの

だろう。これは日本人というのはいくつまでいかなければならないのかというの

が、私の感覚だ。

【質問】 だからこそ意識改革

が必要。大震災という不測の事態がなくとも介護に行くと、結果として終の住処をうばわれて病院・施設暮らしになっている。それも今の国の制度では限界に



一般質問

中川 直美 議員

市民の期待にこたえた市政を



【質問】 市民から「きめ細かいサービスが受けにくくなった」「声が反映されない」との意見が多い。合併前の市民への約束が守られたと思うか。

【市長】 大きくなったメリットは機能しつつあるが、全部が良いことばかりでない。

【質問】 硬質水道水の改善の策は難しい。「軟水機」への助成の方が安い。将来の水道事業への対応が、市として必要ではないか。

【水道課長】 軟水機は水道事業で対応できない。

【財務課長】 今後について担当課との協議も踏まえた上で対応になる。

【市長】 当然引き継がれる。

【質問】 大雪の際の高齢者への除雪対応は。

【高齢福祉課長】 38人延べ68回の除雪。「軽度生活援助制度」活用は1件。

【質問】 地震や原発事故への

対応について。糸魚川市は独自のヨウ素剤の配備を決めたが、佐渡市の状況はどうか。

【危機管理主幹】 2月8日に災害対策本部を設置、翌日、要

援護者の一部の安否確認を実施。原発対応は、県内市町村と歩調を合わせる。ヨウ素剤は把握していない。配備には80万円程度必要である。

【質問】 支所等の地域拠点が必要。支所を廃止する計画の現状は。

【行政改革課長】 たたき台として提案しているが、今後も引き続き協議していく。

【質問】 5期介護保険計画において「生活援助」は時間短縮で報酬が下がる反面、保険料は大幅値上げとなる。保険料のサービス充実が必要。

【高齢福祉課長】 努力した。実態調査で方策を検討する。

【質問】 相川地区の「買物弱者」シンポジウムは、地域の

課題に取組んでいる。「市地域福祉計画」は市が支援すべきとなっている。

【社会福祉課長】 市は、地域福祉を活動する団体等と協力し、地域福祉の推進を図っている。総合的に検討し支援はしていきたいと考えている。

【質問】 TPPに対する佐渡市の認識は。国営かんばい事業の県事業は遅れており、水が使えない。農民に約束したことは守られるのか。

【市長】 TPPについて佐渡市のことを考えれば問題がある。国営かんばい事業の約束は、守り続けなければならない。

【農林水産課長】 平成25年度に国営は100%だが県営は16.1%で、平成28年度完成をめざしている。TPP関税を自由化は直接支払い対策がセットで、10年間の関税猶予がありすぐ危機にはならない。

一般質問

廣瀬 擁 議員

人口減少に伴って起きる諸問題について 新年度予算にどう反映したのか



【質問】 佐渡市の人口減少から生じる今後予想される諸問題をどのようにとらえ、佐渡市将来ビジョンに反映させ当初予算に取組んだのか。

ターや専門学校誘致、空ラン」の策定を進める準備をされており、地域集落が主体となる営農組織の育成を進める。一次産品の流通経路の開拓は農林水産課を中心に各課が連携して進めており、農産物においては、それぞれに生産から販売目標を設定し、作物に応じた販売先、流通経路を開拓、多様な販売先の確保を進めている。

(1) 幼児・児童数の減少、学生就職率の低下、変化する高齢者と就農者対策は。

【農林水産課長】 一次産品の島外販路についてはトキ認証米をはじめ、おけさ柿、乳製品、寒ブリなど、トキと共生する佐渡ブランドとして、百貨店などを中心に販路の拡大を進めている。担い手の育成については地域の担い手や農地の保全体制を明確化する「人・農地プ

(2) 一次産品の島外販売への推進策は。

【観光商工課長】 観光産業は他産業と比べ宿泊施設や飲食店等の付加価値額が高く、島内への経済波及効果、就労人口への増加につながる

(3) 交流人口増や女性（特に専業主婦）の就労機会増加への取組みは。

【市長】 佐渡市の少子高齢化に伴う人口減少問題は、島内経済に影響を及ぼす大きな課題ととらえており、保育料の軽減や保育時間の拡大、子ども医療費、予防接種費用等の助成などの各種支援策により安心して産み育てる環境づくりに取組んでいる。またコールセン



トキ認証米

にいた観光は人気もあり、花のトレッキングやカンヅウツアーなどが予定されており、市も山野草の保護増殖やPRを強化している。

一般質問

白杵 克身 議員

尾花地域を中心とした
都市計画を描け

【質問】 金井尾花地域は、佐渡総合病院の移転、金井小学校の改築移転とJA佐渡の施設移転等により人や車の流れが大きく変化しており、周辺住民は急激な環境変化に戸惑いを感じている。この地域及び金井地区中心街から旧市町村を結ぶ道路網交通体系等の具体的な都市計画を策定する考えはないか。

【市長】 やり残した中にこの地域の都市計画がある。新市長の下でやらなければならない事項と考える。地域の方のニーズを踏まえながら基本的な都市計画を策定していただきたい。

【質問】 金井小学校は来春移転開校するが、尾花地域の多くの児童生徒が通学道路内の国道を横断しなければならぬ。児童生徒の通学の安全対策を関係行政に働きかける用意があるか。

【教育長】 当地区においては約500mの間に、横断歩道4か所、信号機3基がある。コンビニ交差点の信号機は押しボタン方式から一定周期で信号かわる定周期型の信号機に交換されている。児童生徒の安全が確保されないようであれば、学校、保護者、教育委員会で検討し、地域の意見も聞いて関係機関と協議したい。

【市長】 従来は国準拠だったが、県準拠に変わっている。新潟県及び県内他市の動向を注視したい。佐渡市がどうするかについては言及を差し控えたい。

【市長】 従来は国準拠だったが、県準拠に変わっている。新潟県及び県内他市の動向を注視したい。佐渡市がどうするかについては言及を差し控えたい。

【質問】 金井小学校は来春移転開校するが、尾花地域の多くの児童生徒が通学道路内の国道を横断しなければならぬ。児童生徒の通学の安全対策を関係行政に働きかける用意があるか。

【教育長】 当地区においては約500mの間に、横断歩道4か所、信号機3基がある。コンビニ交差点の信号機は押しボタン方式から一定周期で信号かわる定周期型の信号機に交換されている。児童生徒の安全が確保されないようであれば、学校、保護者、教育委員会で検討し、地域の意見も聞いて関係機関と協議したい。

【市長】 従来は国準拠だったが、県準拠に変わっている。新潟県及び県内他市の動向を注視したい。佐渡市がどうするかについては言及を差し控えたい。

【市長】 従来は国準拠だったが、県準拠に変わっている。新潟県及び県内他市の動向を注視したい。佐渡市がどうするかについては言及を差し控えたい。

【市長】 従来は国準拠だったが、県準拠に変わっている。新潟県及び県内他市の動向を注視したい。佐渡市がどうするかについては言及を差し控えたい。

【市長】 従来は国準拠だったが、県準拠に変わっている。新潟県及び県内他市の動向を注視したい。佐渡市がどうするかについては言及を差し控えたい。



一般質問

中村 良夫 議員

佐渡病院の駐車場を早期に



【質問】 佐渡総合病院の近くに新しい駐車場の早期実現を

【質問】 佐渡総合病院の近くに新しい駐車場の早期実現を

【質問】 佐渡総合病院の近くに新しい駐車場の早期実現を

【市民生活課長】 外来・職員・看護学校含めて1280台の駐車スペースの計画である。旧外来棟はまもなく解体工事が終わり、旧入院病棟は秋までに解体し、駐車場整備になる。

【市民生活課長】 新潟県は少子化対策として助成している。佐渡市は子育て支援としてすべての子どもに助成している。

【市長】 市民にとっては増税の一体改革で増税する計画の正体は社会保障を切り捨てながら消費税増税を押しつけることではないか。

【質問】 岩首診療所は佐渡市の責任で医師を確保し、存続すべきだ。

【市長】 廃止されたら大変なことになる。責任をもって厚生連にお願いしたい。

【市長】 廃止されたら大変なことになる。責任をもって厚生連にお願いしたい。

【質問】 新潟県は子ども医療費助成制度を中学校卒業まで広げる。佐渡市も実施すべきだが。

【市長】 今後も議論を進める。

【市長】 今後も議論を進める。

【質問】 新潟県は子どもが3人以上の世帯のみだが、佐渡市は3人以上という枠を

【質問】 新潟県は子どもが3人以上の世帯のみだが、佐渡市は3人以上という枠を

【質問】 新潟県は子どもが3人以上の世帯のみだが、佐渡市は3人以上という枠を

【市長】 今後も議論を進める。

【市長】 今後も議論を進める。

【市長】 今後も議論を進める。

【質問】 新潟県は子どもが3人以上の世帯のみだが、佐渡市は3人以上という枠を

【市長】 今後も議論を進める。

【市長】 今後も議論を進める。



佐渡総合病院